

国際貢献大学校が9月開校

哲多

岡山の「哲多」から世界の「TETTA」へ。哲多町が今年9月、国際的な人道援助を行う人材を養成する「国際貢献大学校」を開校する。昨年10月に招致した国際医療ボランティア団体・AMD AグループのAMD A国際福祉事業団に運営を委託、国内外から講師と研修生を受け入れる。中山間の小さな町は、21世紀を迎え、世界へ飛躍する好機を迎えている。(新見支局・二羽俊次)

同町は一九九四年からミヤンマー・メティラ市との住民レベルの交流を継続。九九年十一月完成のAMD Aミヤンマー子供病院にも建設資金を提供。こうした経緯から、今春廃校となる大田小学校(同町田淵)を公設国際貢献大学校用地として活用することを計画。

世界の「TETTA」に

人道援助へ人材養成

同事業団の野秀利理事(代行)も「国際人道援助の長(AMD Aグループ代表 現場の多くは生活基盤の破

壊など厳しい環境にある)を家養成向けに、専攻(一)中山間はこれを想定した(年)、専門(二年)、研究模範訓練の場にふさわし(三年)の三課程を設け、い」と、同町と協議を開始した。六月をめどに専攻課程の研修生を募集(社会人対象で昨年九月の定例町議会二十人程度)。専門、研究

提携大学十一校をはじめ、三十カ国の支部を通じてそれぞれの実習先へ派遣する。また、四月をめどに、関係倉庁や講師陣との連絡調整を行ったため、大学校東京事務所を開校する。

同町は、新年度に入り、大田小学校を研修生らが宿泊できるよう改築するほか、住宅を順次整備する。

AMD A協力 国内外から研修生

で、同大学の設置条例案を全会一致で可決。翌十月、AMD A協力の小学校跡利用

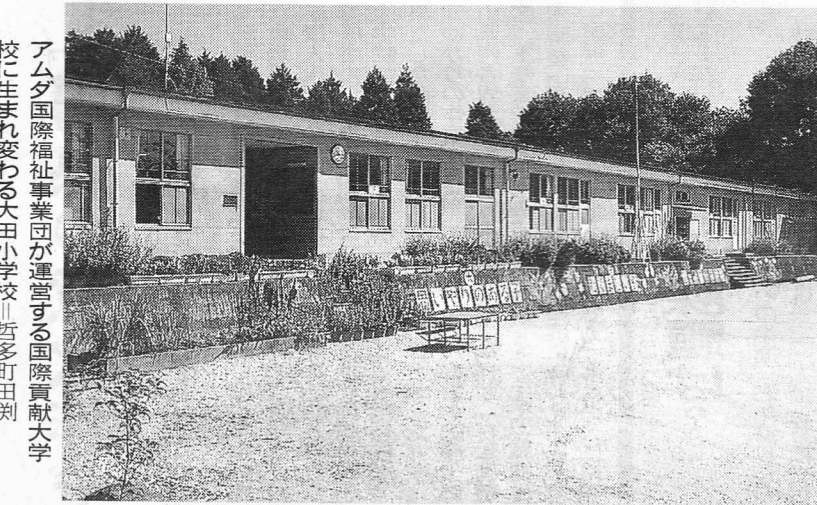
平和学習などの講座も随時開講する。野秀利理事長は「国よりも地方自治体が主役となって、ここで、国益にとられない人道援助、顔の見える国際貢献ができる。町が提供し

を、同大学の設置条例案を全会一致で可決。翌十月、AMD A協力の小学校跡利用

野秀利理事長は「国内から集う人材が地元のままさまざまなニーズに貢献できる方策を検討する」と、医療・福祉施設の建設を視野に含め、全面支援を約束する。竹元武士町長は「中山間の町に世界から人材が集えれば、こんなうれしいことはない。過疎、高齢化に

海外実習義務付け 計画では、開校時に国際保健医療学部を設置。専門

準備着々と進行 開校に向けた準備は着々と進行。十月以降、同事業団スタッフ八人が交代で常時、本部事務所に詰め、事務作業に当たっている。一月中には、医療環境に保健、防災など各分野の有識者ら九人と同町議二人の計十一人で構成する大学校



AMD A国際福祉事業団が運営する国際貢献大学校に生まれ変わる大田小学校(哲多町田淵)



国際貢献大学校 開設予定地